

会 議 録

1. 日時	平成29年12月11日(月) 19:00～21:10				
2. 会場	守門公民館(守門庁舎) 3階 多目的ホール				
3. 出席者 (敬称略)	No.	組織名	役職	氏名	出欠
	1	入広瀬地域連合自治会	大白川自治会長	住安正信	○
	2	入広瀬地域連合自治会	横根自治会長	渡辺隆	○
	3	入広瀬地域連合自治会	穴沢自治会長	浅井稔	欠
	4	守門地区区長会	会長	横山正樹	○
	5	守門地区区長会	副会長	榎本春実	○
	6	守門地区区長会	監事	大塚明	○
	7	入広瀬コミュニティ協議会	会長	梶沢一彦	欠
	8	須原コミュニティ協議会	副会長	湯本勝美	○
	9	上条コミュニティ協議会	会長	目黒正和	○
	10	入広瀬小学校	PTA会長	樺沢裕幸	○
	11	須原小学校	PTA会長	大塚耕太	○
	12	入広瀬中学校	PTA会長	大島誠	○
	13	守門中学校	PTA会長	佐藤直樹	○
	14	入広瀬小学校	6学年P委員長	佐藤直幸	○
	15	入広瀬小学校	保護者	佐藤陽二	○
	16	入広瀬小学校	保護者	穴沢梢	○
	17	須原小学校	6年学年委員長	大塚耕三	○
	18	須原小学校	5年学年委員長	浅井誠哉	欠
	19	須原小学校	4年学年委員長	小島綾子	○
	20	入広瀬中学校	保護者	星朗	○
	21	守門中学校	1学年委員長	浅井景介	欠
	22	入広瀬中学校	校長	佐藤栄策	○
	23	入広瀬中学校	教頭	浅井貞夫	○
	24	入広瀬中学校	教務主任	星野正樹	○
	25	守門中学校	校長	山岸力	○
	26	守門中学校	教頭	大塚高央	○
	27	守門中学校	教務主任	友野敦子	○
	28	魚沼市教育委員会	教育長	梅田勝	○
	29	魚沼市教育委員会	教育次長	堀沢淳	○
	30	魚沼市教育委員会	学校教育課長	風間松司	○
	31	魚沼市教育委員会	管理主事	早川政宏	○
	32	魚沼市教育委員会	学務班係長	須佐光行	○
	33	魚沼市教育委員会	学務班主任	小山収	○
34	魚沼市教育委員会	学務班主任	内田昌登	○	

	35	入広瀬小学校	校長	上 村 勤	○
	36	須原小学校	校長	佐 藤 浩 一	○
4. 資料	資料 1 新学校名 答申案について 資料 2 校章の公募について 資料 3 校歌歌詞素材の公募について 資料 4 制服・体操着アンケートについて 資料 5 部活動アンケートについて				
5. 会議概要	1 開会 2 教育長あいさつ 3 第1部全体会 (1) 議題 ①新学校名 答申案について ②校章の公募について ③校歌歌詞素材の公募について ④制服・体操着アンケートについて ⑤部活動アンケートについて (2) 報告事項 ①校章・校旗・校歌部会（新生中学校部会） ②統合記念事業部会（閉校・統合記念事業部会） ③学校運営部会（学校づくり運営部会） 4 次回（全体会）の開催について 5 第2部（専門部会）・・・議事録は各部会で別途作成 6 閉会				
6. 結果	会議の結果以下のとおり決定した。 ①新学校名 答申案について 「魚沼市立魚沼北中学校」で市教育委員会へ答申することとした。 ②校章の公募について 次の点を修正して承認 ・応募資格について「現入広瀬・守門中学校区」を追記 ・校章の選考方法について「世帯アンケート」を「保護者・生徒アンケート」に差し替え ・画像を無くすか小さくして、文字を拡大する ・応募用紙の「送付先」を「応募先」に差し替え ③校歌歌詞素材の公募について 次の点を修正して承認 ・応募方法の「各地区の区長様」を削除（表裏ともに） ・その他に著作権についての注意書きを加える ④制服・体操着アンケートについて 次の点を修正して承認				

	<p>・女子のブレザータイプ（下チェック柄）の画像について、リボンを消す</p> <p>⑤部活動アンケートについて</p> <p>原案どおり承認</p>
--	--

■議事詳細

議 事 内 容

1 開会

(事務局) ただ今から入広瀬中学校・守門中学校統合準備委員会第3回全体会を開会いたします。まずは、教育長からあいさつをお願いします。

2 教育長あいさつ

(梅田教育長) 本日は、新しい中学校名を決定いただくこととしております。ここに至るまで皆様からご尽力いただきありがとうございます。これを受けまして12月15日の教育委員会定例会で新しい校名について承認いただく予定としております。また、今月22日の市議会最終日には市長から行政報告の中で新しい学校名について報告することとしております。校名の決定によりまして校章、校歌、制服等の選考作業に入っていくこととなりますので、よろしくお願ひします。それから先のことを考えたときに新しい中学校の部活動の在り方について、いつの時点で示してあげればよいか学年ごとに図を描きながら考えてみました。今の1年生が統合したとき3年生になりますが、3年生は夏ころまで現在と同じ部活動を続け、1、2年生については3年生引退後に4種目程度に絞られるということになりますと、途中で部活動の変更を迫られる生徒が出てくることとなります。統合時の2年生は現在の小学6年生になりますが、来年1年生になったときにどの部活に入るのか、来年4月の時点で統合後の部活動の在り方を示してあげないと、自分が選んだ部活が2年生になるとなくなるかもしれないわけです。部活動についてはこれから議題として取り上げられますが、そのようなことも考えながら検討しなければなりません。皆さんで情報を共有しながら進めていければと思います。本日はどうぞよろしくお願ひします。

3 第1部全体会

(1) 議題

①新学校名答申案について

(事務局) さっそく議事に入りたいと思います。議事進行は委員長をお願いします。

(委員長) これから降雪が本番を迎えます。寒い中お集まりいただきありがとうございます。各専門部会で検討を進め、子どもたちが直接関係する部活動であったり、保護者や地域が一番気にしている通学路の問題であったり、さらに入広瀬・守門の教職員が一堂に会して新しい教育課程について協議に入ったということで、あまり表には出てきませんがそれぞれ水面下で統合に向けた取り組みを進めていただいていることに感謝申し上げます。本日は、新しい学校名が決定されますが、皆さんの意見を聞きながら良い結果が出せたらと思います。このあと、新学校名のアンケート結果について事務局から報告いただき、そのあと協議を進めたいと思います。

(事務局) 【資料1によりアンケート集計結果を報告】

(横山委員長) 全体の約30%の方からアンケートに気持ちを寄せていただいたということです。

このアンケート結果を基に協議いただいて、どの学校名がいいのか判断いただくことにしたいと思います。ただし、この30%という投票率の数字が低いと思われる方もいると思います。このまま進めてよいのか、あるいは他の方法を検討すべきか、その辺のところから意見をお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) 棄権の79票とはどういう意味でしょうか。

(事務局) 解答枠が2つあったわけですが、1つしか記入していなかったものについて1票は有効、空欄は棄権としてカウントしています。

(委員) 選考のやり方はいろいろあった中で、アンケートという手法を採用したわけです。アンケートの結果を優先し、それに尾ひれをつけるべきではないと思います。

(委員) アンケート結果などを総合的に勘案して選定することとしていたわけですが、2番目、3番目を選ぶ理由が見つかりません。したがって1番目を選ぶことで良いと思います。気になるのが入広瀬地域の投票率が約15%と低いことです。関心の低さの現れであれば仕方ありませんが、何かアンケートの回収時に不手際があって回収できなかったという事象があったとすれば、アンケートが適正に行われたのか不安に思う部分もあります。

(委員長) 全集落から提出があったのか、事務局で確認していますか。

(事務局) 北部振興事務所と入広瀬分室からはそのように報告を受けています。

(委員長) 集め残しの集落があったわけではないということですね。

(事務局) はい。

(委員) 区長さん方から配布漏れがあったなどのお話はなかったでしょうか。

(委員長) アンケート用紙に「11月27日までに区長へ提出」と記載があり、期限までに区長宅まで足が向かなかったということもあるでしょう。集落によっては区長が回収に回ったり、班長が集めたりしたところもあると聞いています。配布方法が市報折込だったため、中身を見落としたということもあるかも知れません。いろんな要件があったと思いますが、配布に関しては確実に全戸へ配布された状況であったかと思います。

(委員) 私の集落では締切り5日前になっても1通も提出がなかったため、お知らせを作って回覧を回し、回収率は40%くらいになりました。

(委員長) 私の集落では、班長宅へ提出してくださいとお願いしました。他の集落では班長さんが回収に回ったと聞いています。各地区で回収方法に若干の差が出てきているものの、しっかりと考えて検討して投票してくれた方が3割いたということです。3割以上あれば全体を網羅できる数値と考えてよいものと思いますが、みなさんの意見はいかがでしょうか。

(委員) アンケート結果の2番目以降を繰り上げる理由が見つかりません。アンケートの結果をそのまま採用すべきと考えます。

(委員長) 投票率に関してはどうですか。

(委員) それも含めてアンケート結果をそのまま採用すべきと思います。

(委員長) 他に意見はありますか。

(委員長) ではここで皆さんひとり一人から意見をいただきたいと思います。そうしないと全員の協議ということになりません。名称の公募状況やアンケート結果なども踏まえて、意見をいただきたいと思います。席の順番に意見をお願いします。

(委員) 私は魚沼北で良いと思います。投票率についても先ほど説明いただいたとおり、色々回収

の努力をした中で結果として3割ということなので仕方ありません。

(委員) 私も同じです。投票数、投票率の数値の低さはありますが、アンケート結果で一番多かったものを選ぶべきと考えます。

(委員) 投票率30%は低いですが、きちんと考えて投票してくれた人の考えを尊重して、アンケート結果で最多だったものを採用すべきだと思います。

(委員) 個人的には魚沼北は自分が投票した名称ではないので残念ではありますが、アンケート結果のとおりでよいと思います。

(委員) 投票しなかった人は関心がなかったということでしょう。関心がある方がしっかり考えて投票した結果ですので、アンケートの結果どおりで良いと思います。

(委員) アンケートをとった結果でありますので、その結果を尊重すべきだと思います。

(委員) アンケート結果の1番目を外して、2番目、3番目を繰り上げるとなると、議論の收拾がつかなくなります。このとおりでよいと思います。

(委員) もう一度アンケートを取り直すことはできませんので、このとおりで良いと思います。ただ、入広瀬地域の関心の低さは、今回の統合について良い印象を持っていないことを意思表示したのかもしれませんが、地域へのさらに丁寧な説明が必要だと思います。もう少し仲良く平和に統合したい、祝う気持ちで統合したいのですが、この数字をみるとあまり良い気はしません。

(委員) 全体で30%を超える投票があった中での結果なのでこれで良いと思います。

(委員) 投票しなかった方は、関心がないかあえて投票しなかったということもあるかも知れません。しかし、投票していただいた方の意見は尊重すべきだと思います。

(委員長) 学校と事務局のコメントは無しにしましょう。次お願いします。

(委員) アンケートを出してくれた方の意見を尊重すべきと考えます。

(委員) 投票いただいた方は、高齢の方もおりましたし、わざわざ区長宅まで持参してくれた方、中学生のいるご家庭からも提出がありました。内容については非常にみなさんよく考えて出してくれたものだと思いますので、順位を変えてまで選ぶことは適当ではないと思います。

(委員) 自分もアンケートに記入する際、かなり悩み、考えました。投票してくれた方もそんなふうに悩んだ中で投票いただいたものと思いますので、このとおりで良いと思います。

(委員) 私も家族で話し合っってアンケートに記入しました。たった3人の家族ですけど話し合った甲斐はあったのかなと思います。アンケートの結果どおりで良いと思います。

(委員) アンケートの結果は尊重すべきだと思います。子どもがいない世帯であっても中学校が地域からなくなることに複雑な思いはあると思いますが、子どもがいる世帯が前向きに統合できるようになれば良いと思います。

(委員) 入広瀬の投票率の低さには自分も驚いています。入広瀬地域の関心の低さが表れているとしか感じ取れません。しかし、投票率が全体で20%でも、15%であったとしても、投票してくれた方の意見は尊重すべきと考えますので、魚沼北で良いと思います。

(委員長) はい、これでみなさんからご意見とアンケート結果を受けてのお話をいただきました。ほぼ全員がアンケート結果を尊重して学校名を決めるべきとのご意見でした。入広瀬地域の投票率の低さについての意見もありましたが、小学生・中学生の保護者であっても投票しない方もいたと思いますし、子どもがいない高齢者でもしっかり考えて投票してくれた方もいました。それぞれ色々な立場の方おられる中で、校名について考え投票してくれた方が30%いる。その結果を

尊重しようという皆さんのご意見で校名を決定させていただこうと思いますがいかがでしょうか。

【「はい」という声あり】

(委員長) 投票率については少し残念な部分もありましたが、アンケート結果もちろんですが、名称候補の応募数も「魚沼北」が最多でありました。そういうことで、アンケート結果と応募数が最多であった「魚沼北」を新学校名として教育委員会に答申させていただくことと決定します。拍手で承認をお願いできますでしょうか。

【委員全員が拍手で承認】

(委員長) それでは、ひとり一人からご意見をいただき全員で協議した結果、承認されましたのでこれで答申をさせていただきたいと思います。アンケートの自由意見を読みますと皆それぞれ思いがあるわけです。学校名は地域のシンボルであり、地域をいかにPRするか、存在感を示すか、いかに地域を愛する心を培うかということを考慮して地名をそのまま学校名にしているところがほとんどではないかなと思います。私が勤務した柏崎市では柏崎第一中、第二中、第三中、そして柏崎東中、長岡市では南中、北中、東北中、宮内中、越路中、それらはみな地名が含まれ、地域の学校という存在感を表わしています。入広瀬、守門の名称はなくなりますが、北部という2つの地域を表わす言葉を含み、魚沼の北部地域に存在する中学校ということで魚沼北中学校は価値のある名前だと思います。そしてこれを県内外に示していくことが、これからの新しい学校のスタートではないかなと思います。北部振興事務所も北部支所として新しい行政区になることが検討されており、北部地域のシンボルとして魚沼北中学校がよりよい学校になってくれることを願い、皆さんのお力添えをいただければと思います。他のあぶるまや青雲、美郷などについては、これから新しい校歌を作るときに両地域を表わす歌詞素材として採用し、皆さんの思いを託していけたら良いと思います。校名募集に応募してくれた皆さんやアンケートにご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

【6分休憩】

②校章の公募について

(委員長) 会議を再開します。校章の公募について事務局から説明願います。

(事務局) 【資料2により校章の公募要項、応募用紙について説明】

※発言内容の記載省略

検討結果は、「6. 結果 ②校章の公募について」に記載のとおり

③校歌歌詞素材の公募について

(委員長) 校歌歌詞素材の公募について事務局から説明願います。

(事務局) 【資料3により校歌歌詞素材の公募要項、応募用紙について説明】

※発言内容の記載省略

検討結果は、「6. 結果 ③校歌歌詞素材の公募について」に記載のとおり

④制服・体操着アンケートについて

(委員長) 制服・体操着アンケートについて説明願います。

(学校づくり運営部会長) 【資料4によりアンケートの目的及び用紙について説明】

※発言内容の記載省略

検討結果は、「6. 結果 ③校歌歌詞素材の公募について」に記載のとおり

⑤部活動アンケートについて

(委員長) 部活動アンケートについて説明願います。

(学校づくり運営部会長) 【資料5によりアンケートの目的及び用紙について説明】

※発言内容の記載省略

原案どおり承認

(2) 報告事項

①校章・校旗・校歌部会（新生中学校部会）

(委員長) 新生中学校部会の進捗状況について事務局から何かありますか。

(事務局) 校歌の歌詞素材を公募した後の作詞についてですが、魚沼特使で「魚沼元気」の補作をされた喜多條忠先生に依頼をしたところ、快諾が得られましたことを報告します。

(委員長) 喜多條先生は夫人が渋川出身ということで北部地区に縁のある方です。歌詞素材をお渡しすればこの辺の状況はすぐにご理解いただける方ではないかと思えます。

②統合記念事業部会（閉校・統合記念事業部会）

(委員長) 統合記念事業部会の進捗状況について、各学校から報告をお願いします。

(入広瀬中) まずは閉校記念事業をしっかりとやっていこうということで優先的に準備を進めています。統合記念事業はその後で取組むこととしています。準備委員会を9月に開催し、閉校記念事業実行委員会案、規約案、それぞれの部会案の大綱を決定済みです。PTAの新役員が決定する3月に実行委員会を立ち上げたいと考えています。11月19日に南魚沼市の五十沢中、城内中、大巻中が今年度閉校になるということで視察に行ってきました。また、記念誌については3社に見積を依頼しているところであり、年内に業者を決定し、予算を確定したいと考えています。そのほか閉校記念事業の実施について、入広瀬地域の地域芸能祭の実行委員会、地域文化祭の実行委員会にも協力を依頼しているところです。

(守門中) 12月20日水曜日に守門中学校で区長会の正副会長さん、同窓会長、PTAの正副会長さん、校長・教頭で閉校記念事業の準備検討会を開催する予定となっています。南魚沼市の3校と今年度実施した創立40周年記念事業の組織を参考に、どのような組織を立ち上げ、どのように事業を行うかをその場で協議いただきたいと考えています。それを受けて2月に準備委員会を立ち上げ、PTAや区長会のメンバーが決まった4月に第一回の準備会の開催を予定しています。

③学校運営部会（学校づくり運営部会）

(委員長) 最後に学校づくり運営部会をお願いします。

(学校づくり運営部会長) 【資料により、特色ある学校づくり、PTA組織、通学路及び交流に関することについて進捗状況を説明】

4 次回（全体会）の開催について

【平成 30 年 2 月中旬から 3 月上旬のあたりで学校と日程調整して開催することに決定した】

5 閉会

【午後 9 時 10 分 閉会】 全体会閉会后、各専門部会に分かれて打ち合わせ